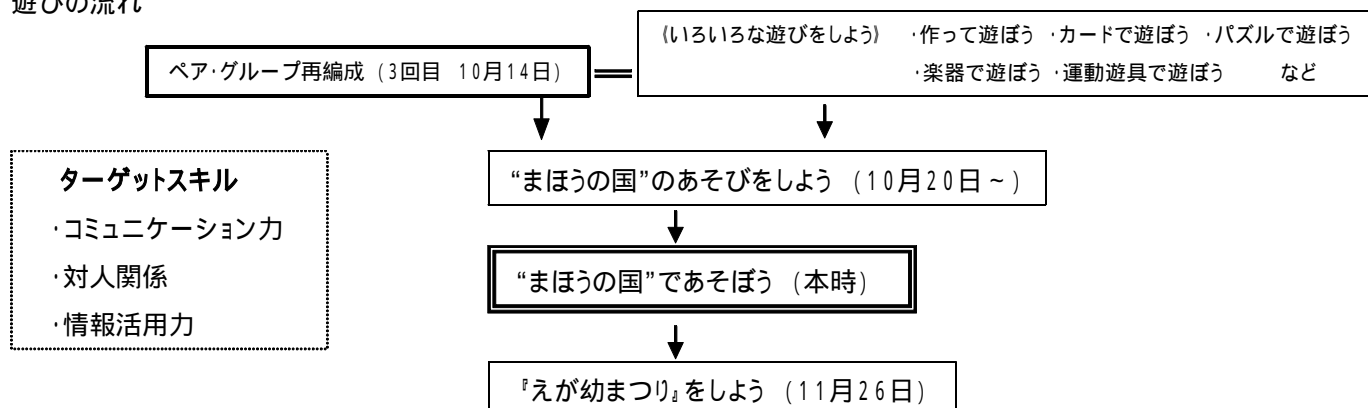


「 “ まほうの国 ” であそぼう 」

遊びの流れ



本時のねらい

< 共 通 > ・「まほうの国」の遊びに参加し、ペアの友達と一緒に楽しく遊ぶ。

< 4歳児 > ・自分の思いを出しながら、5歳児とかかわって楽しく遊ぶ。

< 5歳児 > ・ペアの友達とルールや考えを伝え合い、4歳児をリードして遊ぶ。

時 間	活動の流れ	援助及び配慮
1 3 : 4 0	<p>「まほうの国」の広場に集まり、座る。 環境図 参照</p> <p>ふれあい遊びする。 ・「れもん汁」 ・「なべなべ」</p> <p>あいさつをする。 「まほうの国」の遊びを始める。 環境図 参照</p> <p>・まほうの国の住人(遊びの係)は遊びの準備をする。</p> <p>・まほうつかいの子ども達はまほうのほうきの所へ移動し、遊びに行く「国」について話し合っておく。</p> <p>【まほうの国のグループ】<まほうの帽子をかぶる></p> <p>【まほうつかいのグループ】<まほうのほうきに乗り></p>	<p>子ども達が興味をもつ内容のコーナーを設定して、ペアで楽しく活動できるように環境づくりをしておく。</p> <p>まほうの国の住人はまほうの帽子をかぶり、役割がわかるようにしておく。</p> <p>ペアでふれあい遊びをし、気持ちをほぐして楽しい雰囲気の中で遊びが始められるようにする。</p> <p>互いにあいさつをし、幼稚園・中学校の友達と今日も一緒に遊べることを喜び、かかわることの楽しさが感じられるようにする。</p> <p>まほうの国の住人は準備物を整え、まほうつかいになったグループが楽しく遊べるようにする。</p> <p>まほうつかいになった子ども達はどの遊びから始めるかを相談し、「アイテム」をもらうことに期待がもてるようにする。</p> <p>多くの子ども達が移動するので、安全に気を付け、状況を見て動けるように助言をする。</p> <p>4・5歳児や中学生が、かかわって活動する様子を見守り、互いのことを気遣う姿を認め、声をかけるようにする。</p> <p>まほうの国の住人がまほうつかいに遊びの方法を伝え、遊びがクリアできるように応援する姿を認める。</p> <p>一つの遊びが終わったペアは次の遊びへ移動し、多くの体験ができるようにする。</p>
1 3 : 5 0	<p>・まほうつかいの子ども達が遊びに出かける。</p> <p>・まほうつかいは、ペアで遊びをクリアすると「まほうのアイテム」がもらえる。</p>	<p>ペアで協力していることや工夫していることを認め、周囲の子ども達にも知らせて広めるようにする。</p> <p>子ども達のかかわりや、よい面、困った事なども記録し、次の活動につなげるようにする。</p>
1 4 : 1 5	<p>片付けをする。</p> <p>「まほうの国」の広場に集まる。 環境図 参照</p>	<p>片付けは自分達の国で協力して行えるようにする。また、早く片付けが終わったら、まだ片付いていない所を手伝うように助言する。</p>
1 4 : 2 0	<p>今日の遊びについて話をする</p> <p>・楽しかったこと、友達の頑張っていたこと</p> <p>・困ったこと</p> <p>・中学生への思い など</p>	<p>楽しかったこと、頑張ったことなどを話し、互いに認め合うことで、一緒に遊びをクリアしたことの喜びが感じられるようにする</p> <p>困ったことは話し合って解決し、次回も楽しく遊びに参加する気持ちをもてるようにする。</p> <p>中学生とも感想を話し合う機会をつくり、今後の交流に期待がもてるようにする。</p>
1 4 : 3 0	<p>あいさつをする。</p> <p>解散する。</p>	<p>今日の活動が次の遊びに生かせるよう声をかけ合い、解散する。</p>